

第一席

こんぺいとう 第二十一号

愛知県立常滑高等学校

私たちは、毎週火、木、金曜日の週三日、小説、エッセイ、詩、短歌、俳句、川柳を創作しています。活動内容も様々な企画を考え、校内外で吟行をしたり、高文連主催の講習会やアートフェスタに参加したり、他校との交流会を楽しみながら、幅広く活動をしています。

常滑高校文芸部が誇る文芸部誌「こんぺいとう」は、様々な色や形があるこんぺいとうのように、個性豊かな作品を制作したいという想いから名付けられました。

今回の部誌は「楽園」をテーマに、「楽園とはなんだろう」「自分にとつての楽園とはなんだろう」と身の回りのことから、遠い遠い先の未来まで、四方八方に視野を広げて、何度も試行錯誤しながら、部員全員で創作と編集作業に励んでまいりました。

今年度の部誌には、新しいジャンルとしてシナリオの創作にチャレンジし、演劇部に演じて頂いた作品も載せてあります。



今後もし新しいことに挑戦し、そこで得た経験や失敗も制作の糧にして、よりよい作品づくりができるよう精進していきたいです。

部員一人一人の想いを込めた「楽園」をお楽しみいただけましたら幸いです。
(二年 木下 愛梨)

第二席

岡東文芸部誌 第八号

桜 — Cherry Blossoms —

愛知県立岡崎東高等学校

三年生が最後に作った部誌がこちらの「桜」です。学園物、というテーマのもと、小説、詩などを掲載しております。とても読み応えがあるものになっているかと思えます。

いわゆる「学生」と呼ばれる期間というのは、当事者にとってはとても長いものであるかのように感じられますが、人生全体で見えてしまえばほんの一瞬です。その一瞬を生きる私たちだからこそ見えるもの、描けるものがあると私は信じています。私たちの見た「一瞬」を切りとったこちらの部誌を、どうかお楽しみください。

(三年 入江 真凜)



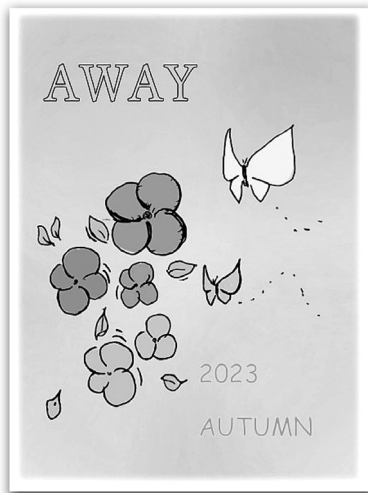
AWAY 2023 AUTUMN

愛知県立豊橋西高等学校

豊橋西高等学校文芸部は、週に三回、俳句・短歌などの創作を中心に活動を行っています。言葉を使って表現する楽しさを大切にしながら、皆で切磋琢磨しています。

今回の「AWAY」では、世界観を統一したショート×ショートを含め、小説の量が普段の倍となっています。また、「豊橋今昔物語」と名を打った地元豊橋に注目した企画や、本校文芸部の卒業生をも巻き込んで、初句を揃えた連歌作品にも挑戦をしています。限られた部員数ながら、例年に負けない、読み応えのある作品たちに仕上がっていると思います。どうぞお楽しみください。

(二年 山口 詩織)



晨星 75

愛知県立熱田高等学校

私たち熱田高校文芸部は、毎週水曜日と金曜日に和やかな雰囲気で行っています。年に二回この「晨星」と「こもれび」を作成しており、どちらの部誌にも全員が全力を尽くして作った作品が収められています。

今回のテーマである「ラジオ」を各々の世界に絡めた作品ももちろん見どころですが、何にも縛られず、心のままに描かれた作品も多く収められており、色々な角度から楽しめる一冊となっています。

シンプルな表紙に隠された作品の数々をぜひご覧ください。

(二年 伊藤 太一)



淡雲苑 企画号

名古屋市立桜台高等学校

桜台高校文芸部では毎年小説を中心に七冊ほど部誌「淡雲苑」や漫画創作部との合同冊子を発行しています。

今回の「淡雲苑」は企画号ということで、部員同士で作中に入れる台詞を送り合い、そこから物語を發展させて書きました。普段は書かないジャンルに触れる機会となり、悪戦苦闘しながら書き上げた一冊となっています。自分たちの新たな得意、不得意を知ることができて、さらに小説への興味が深まった号になったと感じます。また、表紙には物が沢山描いてありテーマに沿った仕上がりになりました。手に取った瞬間に楽しんでもらえる部誌になったらと思います。

先輩や先生の助言、力添えで紙の高騰の中でもなんとかこの号を発行することができました。支えてくださった方々に深い感謝を申し上げます。



そしてその努力に応えるためにも、これからも素敵な作品を次々と作り出していきます。

(二年 服部貴実子)

COSMOS 第百十九号

愛知県立時習館高等学校

時習館高校文学部は部員同士の仲が非常に良く、学年を越えた交流も盛んな部活です。普段は火・水・木の三日間で活動しており、活動内容は短歌・俳句の作成、またそのコンクールや大会への応募です。他の日にはボードゲームやカードゲーム等のレクリエーションを通して創作への意欲を高めています。

『COSMOS』は春、秋の年二回発行されている六十年前からある伝統的な部誌です。春は新入生・卒業生に配布し、秋は文化祭で販売をしています。小説だけでなく、漫画やイラスト、付け句などを掲載しています。個性的な部員たちや本校OBの方々による多種多様な作品をお楽しみいただけたらと思います。



(二年 宮道 佑菜)

イナカプレス

愛知県立成章高等学校

私たち成章高等学校文芸部は、二年生四人、一年生四人の計八人で活動しています。普段は小説の制作を中心に、様々な創作活動に取り組んでいます。また、「成章祭」という九月に行われる学校行事では、部誌「イナカプレス」を発行し、生徒や一般の方々に配布しています。

今年のイナカプレスのテーマは「タイムカプセル」です。「イナカプレス」そのものが未来に残る大切な宝物」という思いのもと、一人ひとり丁寧に作品を仕上げました。心に残る作品の一つでも出会えて頂けたら嬉しいです。

(二年 小林 彩乃)



蝉時雨 第三号

愛知県立知立東高等学校

今年で四周年を迎えた文芸同好会です。創設メンバーであった先輩方が卒業され、新たな気持ちでスタートを切りました。

私たちは普段短編連作をする「じゃれ本」や俳句、作品考察や解釈など部員のやりたい気持ちを大切に、「文学」にまつわる活動を行っています。毎年六月に実施される文化祭「つどい」では、今年も無事に部誌『蝉時雨』を発行することができました。

第三号は「七不思議」をテーマにそれぞれが作品を執筆しました。表紙にはイメージキャラクター「時雨ちゃん」の姿も……。表紙の絵も自分たちが描いたものです。この部誌から、私たち同好会の暖かい空気を感じながら、楽しんでいただければと思います。

私たち知立東高等学校文芸同好会と、『蝉時雨』をよろしくお願いします。

(二年 香西 ころこ)



白面書生 二〇二三

愛知県立豊橋商業高等学校

豊橋商業高校図書部では、日々部員が自由に活動を行っており、小説・イラストを中心とした冊子を年に一度発行しています。

今年度の「白面書生」は、「お化け」をテーマに制作をいたしました。皆様は「お化け」と聞いて、どのようなものを思い浮かべるでしょうか。お化けの解釈を温かく優しいものとして思い描いた部員もいれば、暗く怖いものとして思い描いた部員もありました。自身の考えるお化けと他者の考えるお化けの違いについて考えるのもこの冊子の楽しみ方の一つでしょう。

これからも、より素晴らしい作品の制作を目指し、部員一同精進してまいります。

(二年 上平 梨央)



生態観察記録

愛知県立豊橋東高等学校

私たち豊橋東高校文学部は、十五人程度の少人数で活動しており、小説・イラストを中心に、年に三冊冊子を制作しています。年度始めに、自由に作品を作成する自己紹介冊子を、文化祭と年度終わりにそれぞれ全体でテーマを決めて創作する文化祭冊子と春冊子を、基本的には校内で発行・配布を行っています。また、直近の二冊については本校の図書館にて展示をしています。

今年作成した文化祭冊子「生態観察記録」では、動物をテーマに各部員がそれぞれで作った作品が記載されています。単純に動物を書くもよし。擬人化させるもよし。人間と動物どちらの視点からでも大歓迎。そんな作品集になっています。この冊子は豊橋市内の一部図書館にて展示予定です。ので、もし見かけたらぜひお手にとってみてください。

(二年 金田 夢菜)



夢幻 三十七号

愛知県立碧南高等学校

碧南高等学校文芸部は、年に二回「夢幻」という部誌を発行しています。部誌は毎回顧問を含めた部員全員でテーマを一つ決め、執筆、イラスト、印刷、製本作業の全てを全員で協力して制作しています。

今回のテーマは「星」です。一言に「星」と言っても色々な意味や種類があります。空に浮かぶ無数の「星」、それらはそれぞれ名前や意味がある別の「星」です。私たちが居る地球も「惑星」、「星」として捉えることができます。

このように「星」という幅広い捉え方ができるテーマだからこそ、同じテーマで書いていても部員それぞれの考えや特徴が出た作品になっているので、ぜひお楽しみください。

(三年 佐藤 漣哉)

